

# 溶岩流が造る岬と海女の海岸をめぐる なつ どもり なが お ばな 夏泊・長尾鼻コース



長尾鼻は、鳥取県中部の中国山地付近にかつて存在した火山から流れ下った溶岩でできています。日本海に突き出した岬は、激しい波浪の侵食を受けて複雑な海岸地形が形成されています。岬の西側にある夏泊漁港では、近年まで海女漁が行われていました。また、その西側の青谷海岸や井手ヶ浜は、鳴り砂の海岸として有名です。

### 溶岩の台地と長尾鼻

鳥取県東部の海岸から長尾鼻を見ると、ゆるやかな傾斜をもつ高台が続いています。この台地状の地形は、中国山地付近から流れだした比較的粘りけの小さい溶岩が冷えて固まった安山岩からできています。硬い安山岩は侵食に強く、日本海に突き出した台地状の岬を形成しました。日本海の荒波の侵食を受けた岬の周辺は、急崖をなす複雑な海岸地形となっています。このため、このあたりは、よい漁場となり、磯釣りのメッカとしても有名です。



#### 基本コース

スタート! ※時間は徒歩

①あおや郷土館	約5分	約200m
②空浜公園	約25分	約2000m
③夏泊海岸	約1分	約100m
④安山岩露頭	約10分	約800m
⑧青谷海岸	約15分	約1000m
①あおや郷土館		

総移動時間 約56分  
全行程約4.1km

#### 青谷の日本遺産コース

スタート! ※時間は徒歩

①あおや郷土館	約14分	約700m
⑨港町芦崎の八軒屋通り	約8分	約600m
⑩芦崎湊(港)	約10分	約700m
⑪青谷上寺地遺跡展示館	約11分	約600m
①あおや郷土館		

総移動時間 約43分  
全行程約2.6km

岩場を歩きます。トレッキングシューズ等、歩きやすい靴をお履きください。また、危険な場所もありますので、通行には十分にお気を付けください。

長尾鼻周辺の岩場は、危険な箇所もありますので、通られる際は十分にお気を付けください。

**クイズ**  
夏泊神社の狛犬や鳥居は、江戸時代末期にこの地域で活躍していた石工(石材加工職人)の作品です。その石工は何という名前でしょうか。(答えは裏面を見てね)

地下道を通ります。

#### 夏泊コース

START → ③夏泊海岸 → ④安山岩露頭 → ⑤夏泊神社 → ⑥漁村公園 → ⑦漁村の町並み

#### 凡例

	トイレ		撮影スポット
	駐車場		夏泊コース
	道順		青谷コース
	基本コース		

#### 夏泊コース

スタート! ※時間は徒歩

③夏泊海岸	約1分	約100m
④安山岩露頭	約1分	約50m
⑤夏泊神社	約5分	約200m
⑥漁村公園	約10分	約350m
⑦漁村の町並み	約5分	約300m
③夏泊海岸		

総移動時間 約22分  
全行程約1km



# みどころいっぱい夏泊・長尾鼻

## ① あおや郷土館



平成26年(2014年)にリニューアルしました。山陰海岸ジオパークの情報や青谷町の見所、因州和紙や海女漁、鳴り砂などを、資料や映像で紹介しています。また、ギャラリーでは絵画展や写真展なども開催されます。  
(問)0857-85-2351/9~17時(入館は16時30分まで) / 休館日:月曜日・祝日の翌日・年末年始

## ② 空浜公園



高台にあり、日本海と青谷の町並みを見渡すことができます。砂丘地には青谷の町並みが広がり、その南の低地は田園地帯となっています。かつて内湾であったこの低地が、砂丘の発達により海と隔てられ潟湖(ラグーン)となり、さらにそれが干上がって湿地(後背湿地)となったことが想像されます。

## ③ 夏泊海岸



長尾鼻の西岸の岩石海岸で、風化・侵食により岩が削られ、獅子が口を開けた姿に似ている「獅子岩」など、様々な形の岩が見られます。海女漁が行われていた海岸としても有名です(ジオコラム①参照)。長尾鼻は安山岩溶岩でできた岬で、一帯は西因幡県立自然公園に指定されています。

## ④ 安山岩露頭



長尾鼻をつくる岩石は、約160万年前に中国山地付近から流れ下った溶岩と考えられ、湯梨浜町との境界にある鉢伏山付近から、鳥取市青谷町や湯梨浜町に広く分布しています。板状に割れ目が発達していることが特徴で、このような割れ目は、一般に、流れようとする溶岩と地面との摩擦で生ずるひずみによってできると考えられています。

## ⑤ 夏泊神社



夏泊漁港にある神社です。いつ創建されたかは不明ですが、恵比須(地元ではオービスサン)と称し、古くから崇められてきました。神社には、天保十年(1839年)作の拍犬と、弘化四年(1847年)作の鳥居があります。(クイズの答え参照)

## ⑥ 漁村公園



夏泊の漁村の高台にある公園です。青谷町の海岸を見渡すことができ、晴れた日には大山や島根半島も見ることができます。

## ⑦ 漁村の町並み



急な斜面に多くの家が立ち並びます。その間を、幅の狭い道が張り巡らされ、狭い土地と斜面をうまく利用しています。

## ⑧ 青谷海岸



西の井手ヶ浜とともに、鳴り砂の海岸として有名です。白い砂浜を、足を滑らせるようにしながら歩くと、「キュッキュ」と音を鳴らしながら歩くことができます。(ジオコラム②参照)

## ⑨ 港町芦崎の八軒屋通り



江戸時代、八軒屋と呼ばれた北前船主(廻船問屋)が軒を連ねていた港町芦崎のメインストリートで、船主集落の町割りをよく残しています。通りに面している湊神社には、当時の芦崎の船主たちが奉納した灯ろうや拍犬があります。こうした芦崎の町並みは、「日本遺産北前船寄港地・船主集落」の構成文化財に認定されています。

## ⑩ 芦崎湊(現青谷港)



河口を利用した天然の港で、西側の丸山(標高69m)によって北西の風がさえぎられ、川岸に船舶が停泊しやすい条件を備えています。安土桃山~江戸初期には、鹿野城主亀井が、「朱印船貿易」の本拠地長崎との海上連絡に芦崎湊を使用、その後も、芦崎は港町として明治末ごろまで繁栄し、今も船の積み荷を運んだ津出し路地などが残っています。

## ⑪ 青谷上寺地遺跡展示館



青谷上寺地遺跡から発見された土器や木製品などを展示しながら、弥生人の生活や、当時の周辺の地形などを紹介しています。(ジオコラム③参照)  
(問)0857-85-0841/9~17時(入館は16時30分まで) / 休館日:月曜日・祝日の翌日・年末年始

## おすすめ…夕日が丘展望広場



長尾鼻の先端近くにある展望台です。ここからは、青谷町の海岸線や美しい夕日はもちろん、条件がよければ、大山や島根半島、その沖合に隠岐の島が見えることがあります。また、長尾鼻には、毒竜の伝説があり、毒竜の通り道と言われる赤と黒の模様岩が岩肌に続いているのが見えます。

## ジオコラム①

### 夏泊漁港の海女漁

夏泊漁港では近年まで海女漁が行われていました。夏泊漁港の海女漁は、400年以上前、豊臣秀吉の朝鮮出兵に伴い、鹿野城主亀井茲矩の水先案内人を務めた漁師助右衛門の妻が、筑前の国から伝えたとされています。夏泊の海女漁が最も盛んだったのは1950年代で、30人程度の集団でワカメなどを採っていました。収穫したワカメは「しぼりワカメ」と呼ばれる伝統の方法で加工されていました。



海女漁の様子(再現)

### クイズの答え

川六(尾崎六郎兵衛)

川六は江戸時代末期にこの地域で活躍した石工で、彼が制作した拍犬や石灯籠などが鳥取市西部地域にいくつも現存しています。

## ジオコラム②

### なすな 鳴り砂の浜

鳥取市西部の青谷町は、全国有数の鳴り砂の浜(青谷海岸、井手ヶ浜、水無瀬浜)を持つ地域として知られています。これらの砂浜が白く美しいのは、砂粒に無色透明の石英が多く含まれるからです。平成27(2015)年9月には、この地で全国鳴り砂サミットが開催されました。

鳥取県東部地域の良質な鳴り砂の分布



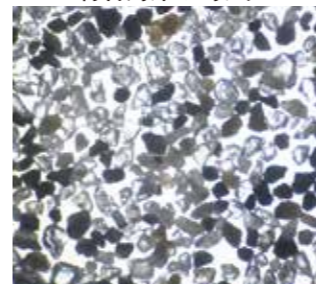
鳥取砂丘検定公式テキストブック編集委員会編「鳥取砂丘まるごとハンドブック」(平成24年)を簡略化

### 鳴り砂の特徴

- ①砂粒の大きさがよく揃っている
- ②砂粒の形が丸みを帯びている
- ③微粒状の砂や泥、汚濁物質が混入していない
- ④砂が波でよく表れ、表面よく磨かれている
- ⑤砂がよく乾燥している

鳴り砂は海や浜が汚染されるなどの環境の変化によって鳴らなくなってしまうデリケートなものです。

青谷海岸の鳴り砂



## ジオコラム③

### 湿地帯に守られた古代の遺物たち

青谷上寺地遺跡は、山陰道の道路建設工事に伴って発掘調査された弥生時代の集落の跡です。この遺跡を囲む溝の中からは、当時の暮らしに関わる品々が多数出土しました。精巧な木製品など、通常では朽ちて残らないようなものが出土しています。当時この地域は潟湖(ラグーン)が広がり、そのほとりの低湿地帯に人々が暮らしていました。水分を大量に含んだ低湿地帯の粘土層が、密閉された酸素のない環境をつくりだし、木材などの有機物が菌に分解されることを防ぎました。そのために保存状態の良い出土品が多数出土し、「地下の弥生博物館」とも呼ばれています。また、出土した弥生人の頭蓋骨の中から脳が発見され、話題になりました。先史時代の人間の脳は世界でも数例しか報告がありません。



青谷上寺地遺跡 弥生時代の品々が出土した様子